

□ インストール

1. ソフトウェアのダウンロード

Filezilla のインストールパッケージを”<http://sourceforge.net/projects/filezilla/>”からダウンロードします。

2. インストール作業

・ダウンロードしてきたインストールパッケージ(Filezilla_2_2_11_setup.exe)を起動します。インストーラーの指示に従って作業を進めます。

・インストール言語の選択

日本語でインストールを行いたい場合は、「Japanese」の状態ですべてのボタンを押します。



・ライセンス契約

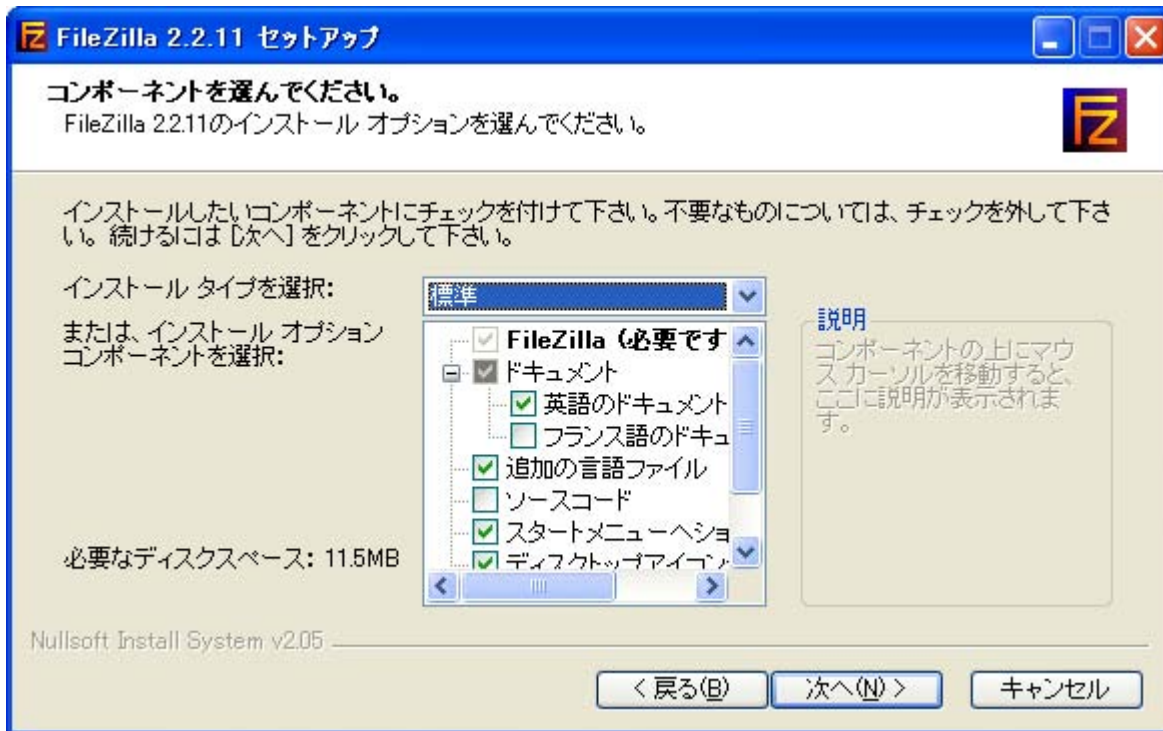
ここではライセンス契約に関する内容が表示されます。何も問題がなければ「同意する(A)」のボタンを

押します。



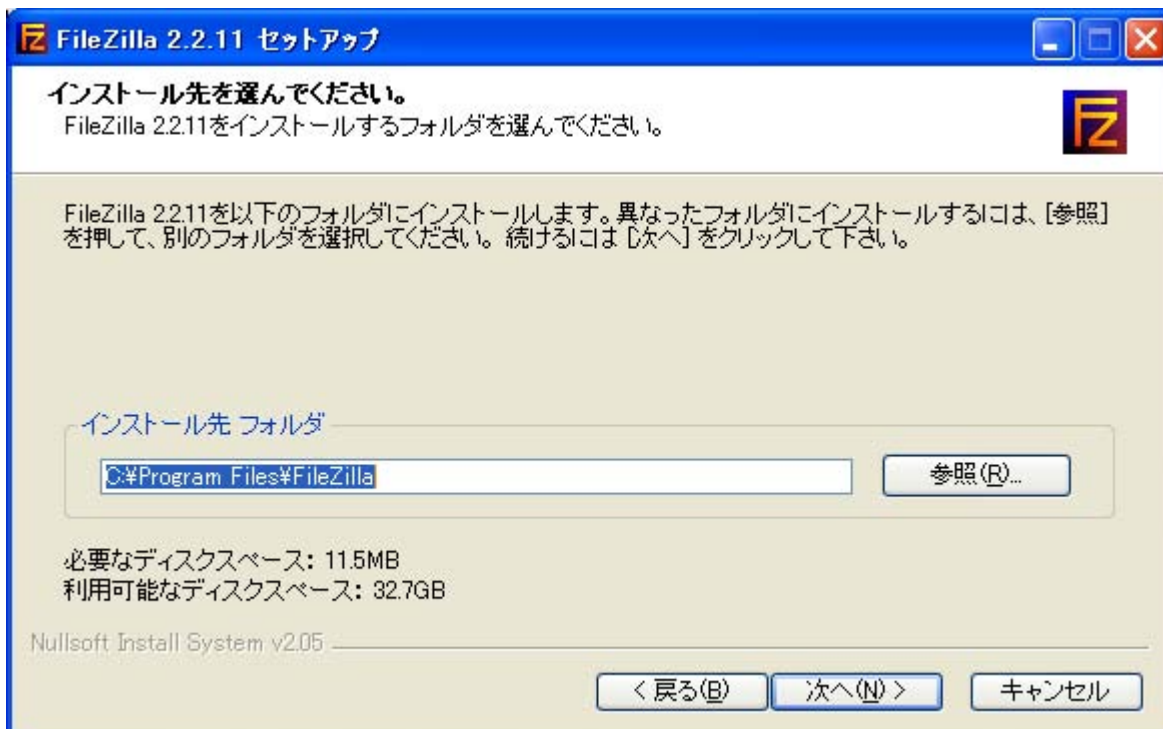
・インストールオプションの設定

ここでは、インストールするオプションを設定することができます。特に必要とするものがない場合は、そのまま「次へ(N)」のボタンを押してください。



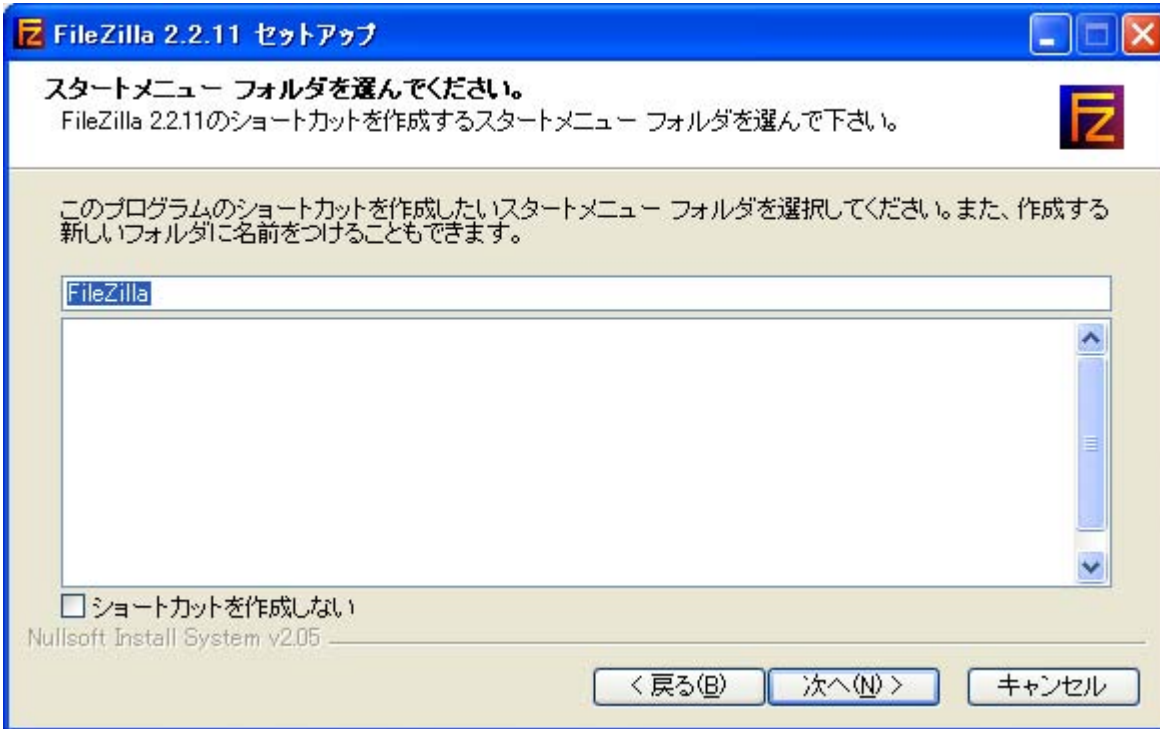
・インストールフォルダの選択

ここでは、FileZilla をインストールするフォルダを選択することができます。特に指定する必要がない場合は「次へ(N)」のボタンを押してください。



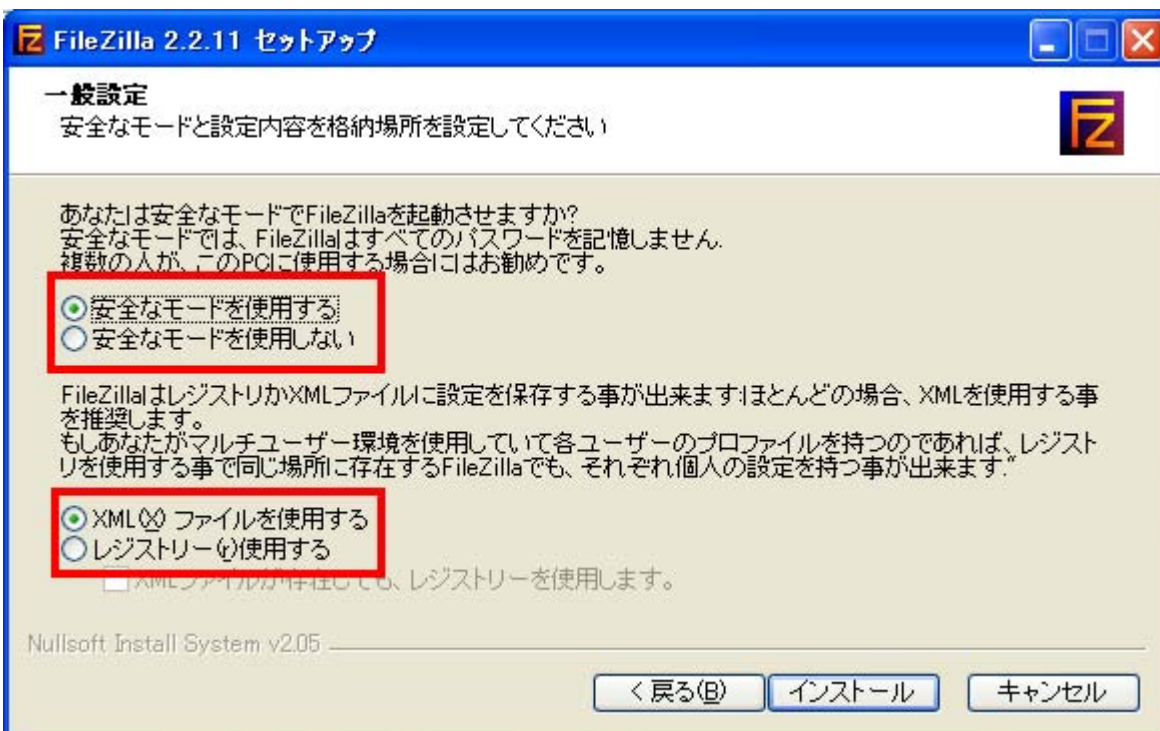
・プログラムメニューの追加

ここではプログラムメニューへの追加，ショートカットの作成について設定します．特に指定しない場合はプログラムメニューへ「Filezilla」が追加され，デスクトップには Filezilla へのショートカットが作成されます．内容の設定ができたなら，「次へ(N)」のボタンを押します．



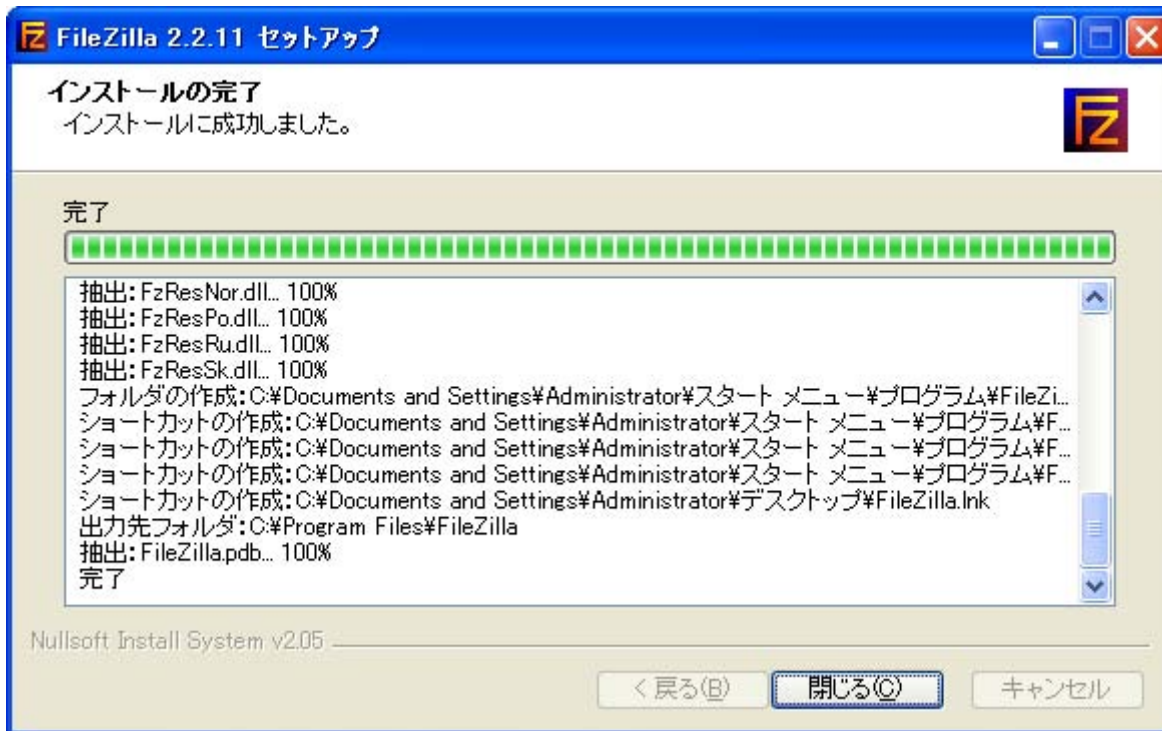
・「一般的な設定」に関する設定

ここではサーバへ接続を行うために必要な情報を管理する手段について設定を行います．一般に，共用利用している PC では，パスワードを記憶しない方がよいでしょう．パスワードを記憶させない場合には「安全なモードを使用する」のチェックをつけ，記憶させる場合には「安全なモードを使用しない」にチェックをつけます．また登録情報をどのような形で管理するかという質問が下方にあり，「レジストリ」もしくは「XML ファイル」を選択できますが，「XML ファイルの利用」を推奨します．選択したら「インストール」のボタンを押します．



・インストールの終了

以下の状態までたどり着いたら「閉じる(C)」のボタンを押して、インストールを終了します。



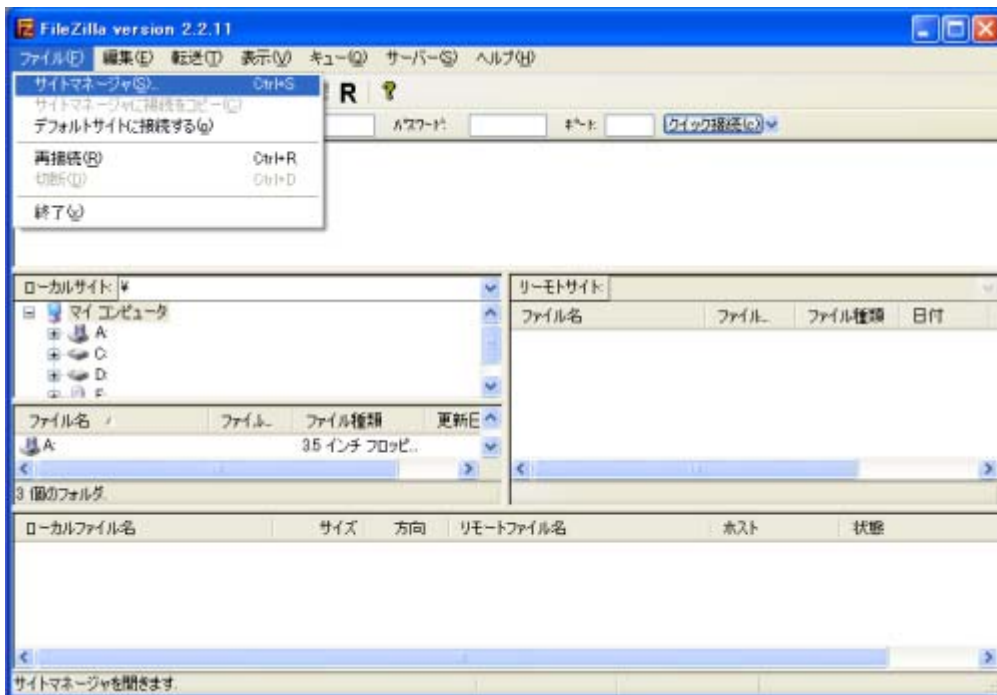
Filezilla の起動



Filezilla を起動するには、デスクトップに作成された FileZilla のアイコンをダブルクリックもしくは「スタート」→「プログラム(P)」→「Filezilla」→「Filezilla」を選ぶことにより起動することができます。

Filezilla の設定

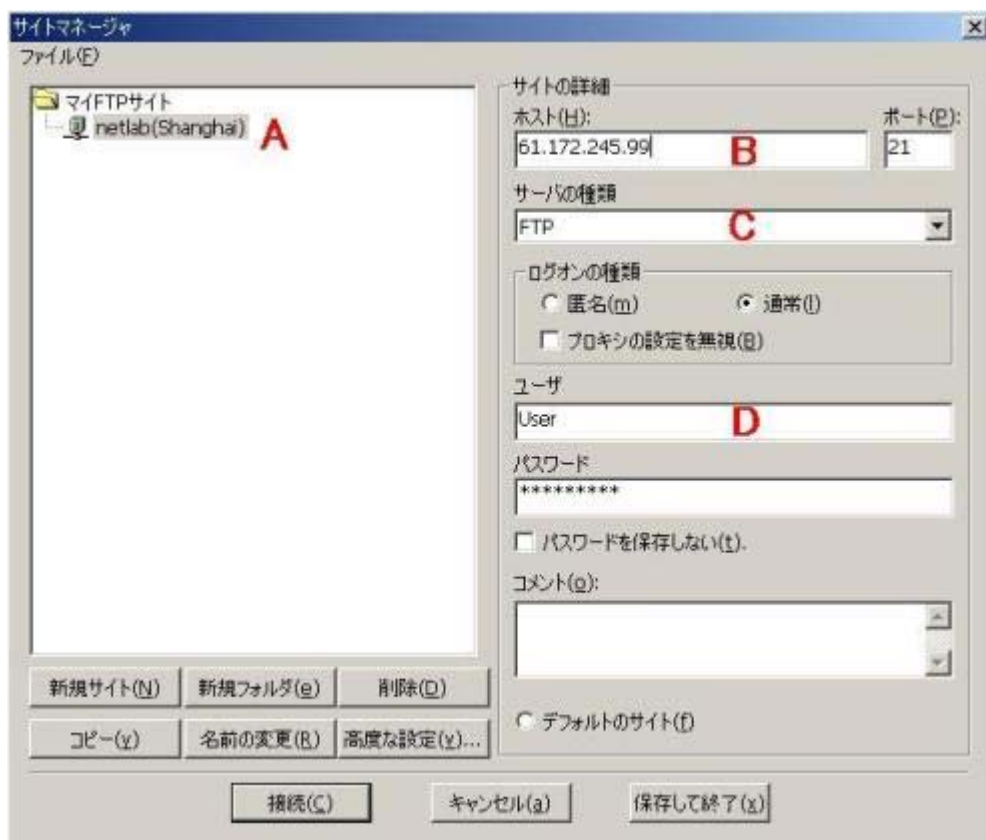
Filezilla へ接続するサイトの情報などを登録するには、メニューバーの「ファイル(F)」→「サイトマネージャ(S)」を選択します。



すると次の画面が表示されますので、ここで「新規サイト(N)」のボタンを押してください。



次の図の画面の **A** のところに「新規 FTP サイト」という項目ができますので、ここで利用したい設定名を入力します。



実際の接続に用いられる情報として、次のようなものを設定する必要があります。

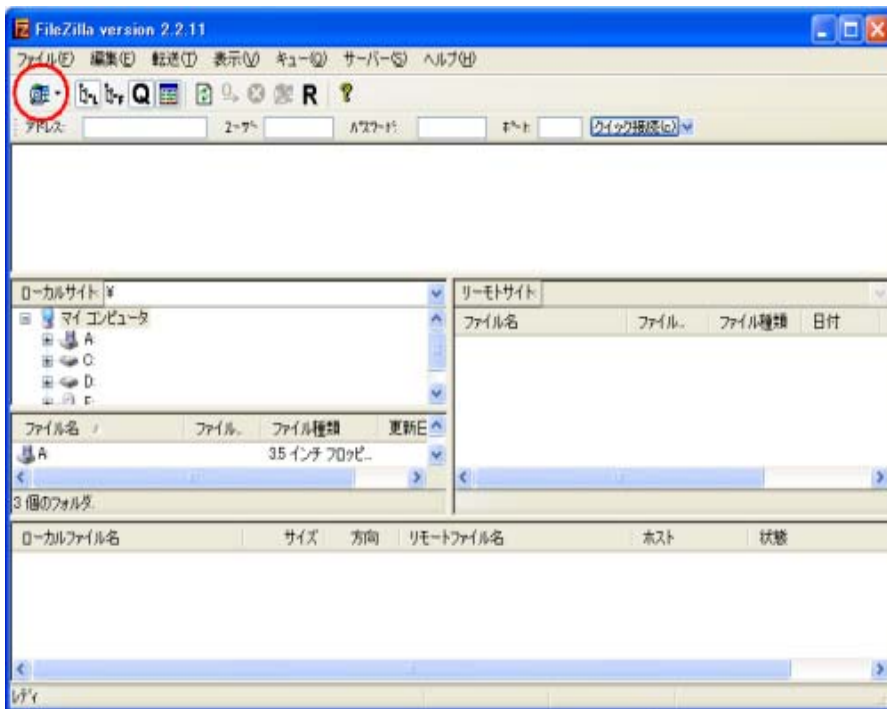
項目	設定内容
ホスト名	IP アドレス
サーバの種類	FTP
ログイン名	ログインアカウント

「ホスト名」は **B** , 「サーバの種類」は **C** , 「ログイン名」「パスワード」は **D** へそれぞれ設定しますが、「ログイン名」の項目はその上の「ログオンタイプ」のところのチェックで「通常」もチェックがついていない状態では設定できませんので、「通常」にチェックをつける必要があります。

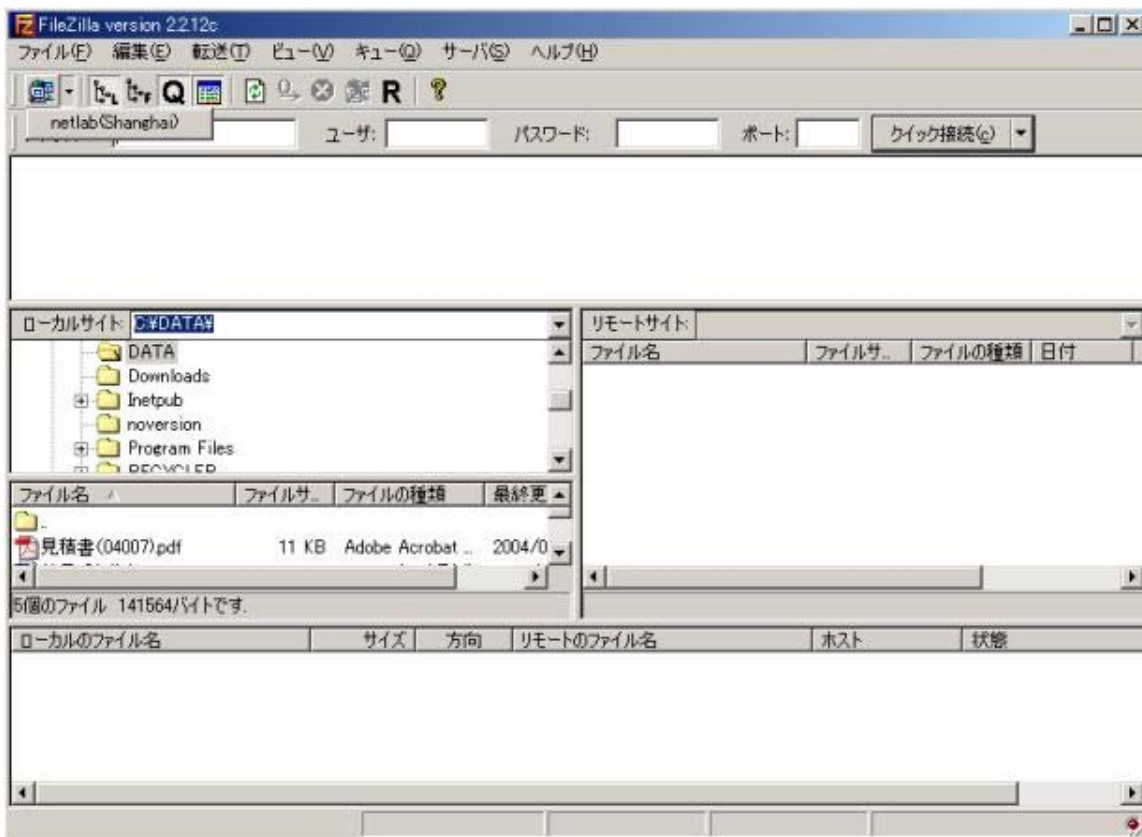
ここまで設定できましたら、「保存して終了(x)」のボタンを押して設定を終了します。

□ Filezilla の起動

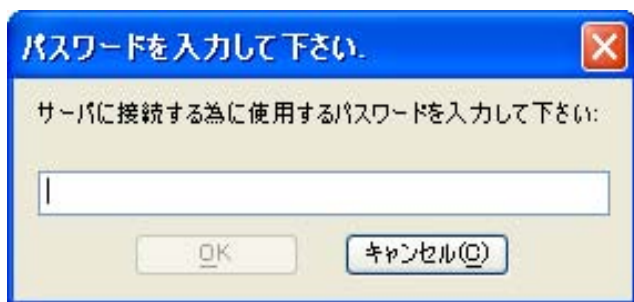
実際に接続を行うには次の図の赤丸部分をクリックしてください。



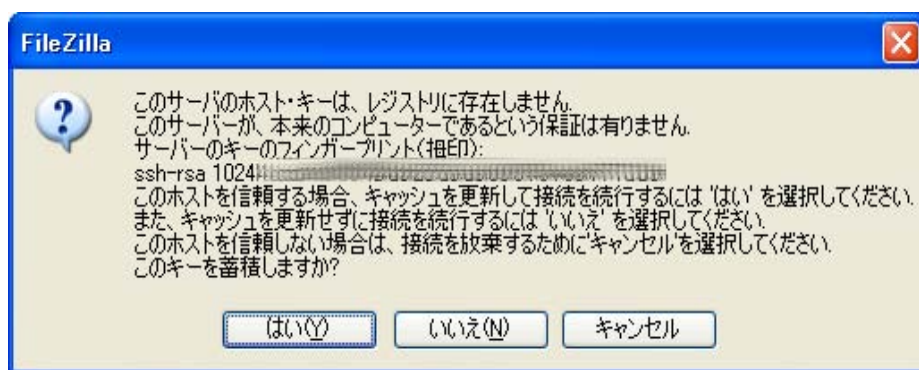
次の図のように接続可能な設定項目が表示されますので、接続対象を選択してください。



パスワードを保存していない場合、次の図のようなダイアログが現れ、設定したログイン名に対するパスワードの入力が求められます。



パスワードを入力すると、対象のサーバへ初めて接続を行うときだけ次の図のようなダイアログが現れる場合があります。ここでははい(Y)ボタンを押してください。



通常はパスワードを入力し OK ボタンを押した時点で次の図のように対象サーバへの接続が確立できます。

